自転車指導啓発重点地区・路線一覧表

令和6年1月1日現在

警察署	地区・路線	地区又は路線の名称	路線区間	延長距離（m）＜概数＞	選定理由
高知	路線	国道32号 県道 （桂浜はりまや線）	高知駅前～潮江橋北詰	500	通勤・通学の自転車利用者が多く、特に朝方の時間帯は歩道を通行する歩行者と自転車が交錯している実態がある。
高知	路線	市道	清岡珊瑚店～帯屋町アーケード ～ひろめ市場前～県庁前 ～城西公園	1,600	アーケード内（11～19時・通行禁止規制）を含む当該市道は、通勤通学及び買い物等での自転車利用者が多く、交通が輻輳している。
高知	路線	県道 （後免中島高知線） （北本町領石線）	比島橋北詰～レクサス高知前～ 高知駅前～附属小南東交差点 ～入明駅	3,200	自転車利用者が多い路線であり、歩道上における自転車や歩行者の交通が輻輳している。また、自転車の一時停止違反が多く発生している。
高知南	路線	県道 （桂浜はりまや線） （高知港線）	潮江橋南詰 ～桟橋通5丁目電停前	1,900	高知南中・高校、高知工業高校、土佐中・高校など学校が集中し自転車利用者が多い路線であるほか、自転車関連の事故も多い。
高知南	路線	国道56号	能茶山交差点～筆山トンネル ～ココス桟橋店前交差点 ～鏡川大橋南詰	5,000	中高校生の通学コースであり、自転車利用者が多く、更に自転車関連を含む重大事故が発生している路線である。
高知東	路線	国道32号	新葛島橋東詰～ ナンコクスーパー高須店前交差点	2,200	高知市中心部に向かう通勤・通学のコースとして朝夕の自転車利用者が特に多く、沿線付近には小中学校が点在している。
高知東	路線	県道 （後免中島高知線） （北本町領石線）	比島橋北詰～ホンダカーズ高知一宮店前～土佐神社前	3,000	通勤、通学、買い物客の自転車利用者が多い路線であり、歩道上における自転車や歩行者の交通が輻輳している。
室戸	地区	室戸市室津・浮津地区			幹線道路に隣接する地区であり、旧来の住宅地に官公署や学校、店舗、病院等が混在し、子どもや高齢者の自転車利用が比較的多いことから交通事故の発生が懸念される。
安芸	路線	国道55号	サンシャインランド ～サンシャイン港町	1,200	管内唯一の幹線道路であり、朝夕の通勤・通学時間帯には交通渋滞が発生し、付近には学校もあり、自転車の通行も多い。
南国	路線	市道	JA土佐香美野市園芸センター前 ～高知石油野市SS前	1,000	土佐黒潮鉄道「のいち駅」周辺で、特に朝夕の通勤・通学時間帯には自転車の通行が多い場所である。
南国	路線	県道 （南国インター線）	ごめん東町電停前交差点 ～大埇交差点	700	南国市中央部に位置する幹線道路で交通量が多く、付近には学校もあり、通勤・通学の自転車利用者が多い。
南国	路線	市道	バリューかがみの店前 ～鏡野中学校 ～かがみの育成園入口	1,000	朝夕は交通量が多く、また、中学校の通学路でもあり、自転車を利用して通学する生徒が多い。
土佐	路線	国道33号	仁淀川橋東詰 ～枝川IC口交差点	4,100	通勤・通学の自転車利用者及び車の交通量が多く、また、国道沿線の歩道幅員も狭く危険性が高い。
土佐	路線	県道(土佐伊野線）	芝交差点 ～土佐市バイパス西口交差点	1,830	県道沿いには、店舗や病院、学校等が連立し、歩行者と自転車利用者が交錯する路線である。 朝夕の混雑時など、重大事故が発生することが懸念され、交通の安全を確保する必要性が高い。
佐川	地区	佐川中学校 周辺地区			自転車を利用して通学する中学生が多く、交通事故の発生も懸念されることから、街頭活動等を強化する必要がある。
須崎	路線	県道 （吾井郷下分線）	吾井郷乙国道56号との交差点 ～須崎中学校前交差点	4,500	付近に高校があり、朝夕の時間帯の自転車利用が多く、また道路沿いには、市役所、郵便局、銀行及び地元の高齢者が利用する商店等が点在しており、自転車の事故が懸念される。
須崎	地区	須崎市川端地区			旧商店街を中心に住宅が密集する地区であり、自転車利用者が多く、付近には小学校があり、朝夕の混雑時における事故が懸念される。
窪川	路線	町道	JR窪川駅～窪川中学校前	1,200	中学校、高校があり、自転車を利用して、通学する生徒が多い。
中村	地区	四万十市 中村新町地区			小学校、中学校、高校があり、自転車を利用して、通学する生徒が多い。
宿毛	路線	市道	宿毛高等学校 ～宿毛駅前交差点	1,400	通学だけでなく官公庁・量販店等へ通勤する自転車利用者が通行している。 また、児童や高齢の歩行者も多いことから、歩行者と自転車の事故発生も懸念される。